

**PulsarC Series**  
バーコードタッチリーダー  
取扱説明書

**Honeywell**





---

## 製品保証と注意事項

### 「保証期間」

本製品の保証期間は、ご購入日より5ヶ年とさせていただきます。

### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。

但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### 「修理」

修理は全てドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 「電波障害自主規制について」

本装置は米国通信規制「FCC 第 15 条補足 J」による計算機器制約条件に適合しております。商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、住宅地域でのご使用は妨害（うごかす）などの受信障害）が起こることがあります。

### 「その他」

- 納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。
- 本製品は、台湾工場（一部、中国工場）にて製造しております。



Blank page

## 安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

### 絵記号の意味

	<p>&lt;注意&gt; 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。</p>		<p>&lt;禁止&gt; 一般的な禁止を示しています。</p>
	<p>&lt;発火注意&gt; 発火の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p>&lt;水気禁止&gt; 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。</p>
	<p>&lt;感電注意&gt; 感電の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p>&lt;分解禁止&gt; 製品の分解や改造を禁止することを示しています。</p>
	<p>&lt;破裂注意&gt; 破裂の可能性が想定されることを示しています。</p>		<p>&lt;ケガ注意&gt; 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。</p>



## 警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器などの発熱物の近くなでは使用しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。

・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。

・火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしコネクタを抜いて下さい。

・感電（火災）の原因になります。





## 注意

- |  |                                  |
|--|----------------------------------|
| <p>■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。</p>   | <p>・故障の原因になります。</p>              |
| <p>■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。</p>                                  | <p>・故障・感電の原因になります。</p>           |
| <p>■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。</p>                  | <p>・故障の原因になります。</p>              |
| <p>■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。</p>               | <p>・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。</p> |
| <p>■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。</p>                                  | <p>・不用意な落下による故障やけがの原因になります。</p>  |
| <p>■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。</p> | <p>・ケースの変形や変色の原因になります。</p>       |

Blank page



# 目次

<b>1.</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>1.1</b>
1.1	ご使用上の注意 .....	1.1
1.2	梱包内容の確認 .....	1.1
1.3	インディケータ .....	1.2
<b>2.</b>	<b>コンピュータとの接続</b> .....	<b>2.1</b>
2.1	RS232C インターフェイス .....	2.1
2.2	キーボードインターフェイス .....	2.2
2.3	USB キーボードインターフェイス .....	2.3
2.4	USB バーチャル COM インターフェイス .....	2.4
<b>3.</b>	<b>バーコードの読み取り操作</b> .....	<b>3.1</b>
3.1	バーコードを読み取る .....	3.1
<b>4.</b>	<b>パラメータ設定</b> .....	<b>4.1</b>
4.1	システムコマンド .....	4.1
4.2	バーコードリーダの簡単セットアップ .....	4.2
4.2.1	RS232C I/F の初期化 .....	4.2
4.2.2	キーボード・USB・ワンド I/F の初期化 .....	4.3
4.2.3	プリフィックス/ポストフィックスの初期化 .....	4.11
4.3	パラメータリスト出力 .....	4.19
4.4	ブザー音の設定 .....	4.20
4.5	キーボード I/F オプションの設定 .....	4.21
4.5.1	CAPS ロックの設定 .....	4.21
4.5.2	数字データ送信方法の設定 .....	4.21
4.5.3	ALT シーケンスの設定 .....	4.22
4.5.4	DOS/V ノートブックオプションの設定 .....	4.22
4.6	RS232C I/F オプションの設定 .....	4.23
4.6.1	送信モードの設定 .....	4.23
4.6.2	ボーレートの設定 .....	4.24
4.6.3	パリティの設定 .....	4.25
4.6.4	データビットの設定 .....	4.25
4.7	バーコードリーダに関する設定 .....	4.26
4.7.1	読み取りモードの設定 .....	4.26
4.7.2	データ照合の設定 .....	4.27
4.7.3	ネガバーコード読み取りの設定 .....	4.27
4.7.4	スキャナタイムアウトの設定 .....	4.28
4.8	キャラクタ間ディレイの設定 .....	4.28
4.9	既定コード ID 送信の設定 .....	4.29
4.10	ユーザーコード ID の設定 .....	4.30
4.11	プリフィックス/ポストフィックスの設定 .....	4.31
4.12	キャラクタ置換の設定 .....	4.32
4.13	読み取りバーコードの設定 .....	4.33
4.13.1	コード 39 の設定 .....	4.33
4.13.2	インダストリアル 2/5 の設定 .....	4.34
4.13.3	インターリーブド 2/5 の設定 .....	4.36
4.13.4	マトリクス 2/5 の設定 .....	4.38
4.13.5	MSI の設定 .....	4.40
4.13.6	コーダバー (NW7) の設定 .....	4.42
4.13.7	UPCA の設定 .....	4.43

4.13.8	UPCE の設定	4.44
4.13.9	JAN/EAN-8 の設定	4.45
4.13.10	JAN/EAN-13 の設定	4.46
4.13.11	コード 93 の設定	4.47
4.13.12	コード 128 の設定	4.47
4.13.13	RSS(GS1 Databar)の設定	4.48
4.13.14	UCC/EAN128(GS1-128)の設定	4.50
4.13.15	Plessey の設定	4.51
<b>5.</b>	<b>データ編集機能</b>	<b>5.1</b>
5.1	編集パターンの登録	5.2
5.2	編集パターンの選択	5.11
補足 A	仕様	A.1
補足 B	16 進バーコード/ステータスキー表	A.2
補足 C	キャラクタ表	A.3
補足 D	データ送信フォーマット	A.4
補足 E	RS232C シリアルコマンド	A.5
補足 G	サンプルバーコード	A.8
修理依頼書		A.9

# 1. はじめに

この度は、弊社 PulsarC シリーズ バージョリアダ<sup>1</sup> (以下、バージョリアダ) をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、本装置の基本的な使用方法について説明しております。  
ご使用になられる前に必ずお読みください。

## 1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

- ◆ バージョリアダ 本体 ----- 1 台<sup>1</sup>
- ◆ 簡易取扱説明書 ----- 1 冊

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

<sup>1</sup> 付属のソフトウェアは、ご購入された型式により異なります。

### 1.3 インディケータ

バーコードリーダーは、ホステルに動作状態を知らせるためのインディケータとして、ブザー及びLEDを装備しています。

ブザーLEDの意味については、下記の表を参照下さい。

ブザー音	
ブザー音	意味
ビ-	電源投入時、約1秒間ビ-というブザー音が鳴ります。
ビ-ッ	バーコードラベルの読み取りに成功した時、このブザー音が鳴ります。ブザーの音量と周波数はパラメータ設定により、プログラム可能です。
ビ-0-ビ-0-ビ-0-	パラメータ設定モードに入った時、このブザー音が鳴ります。
ビ-0-ビ-0-ビ-0-0-ビ-	パラメータ設定モードを終了した時、このブザー音が鳴ります。
ビ-ッ	パラメータ設定モードで数値バーコードラベルの読み取りを必要とするバーコードコマンドを実行した時、このブザー音が鳴ります。

LED	
LED点灯色	意味
緑色	パラメータ設定モードに入ると、緑色LEDが点灯します。
赤色	次の何れかの状態で赤色LEDが点灯します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● バーコードを読み取った時</li> <li>● 電源投入時（約1秒間）</li> </ul>

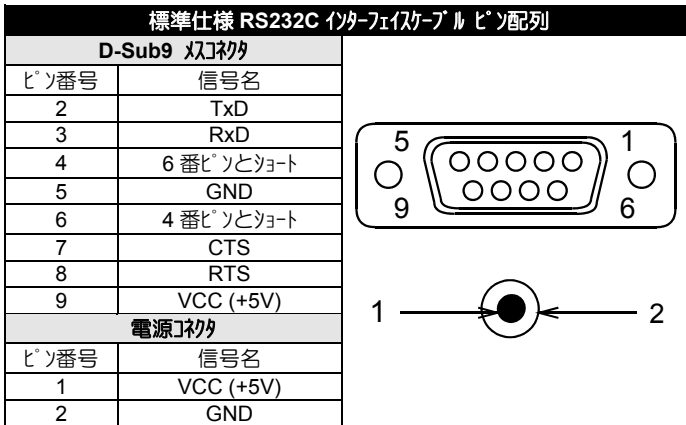
## 2. コンピュータとの接続

### 2.1 RS232C インターフェイス

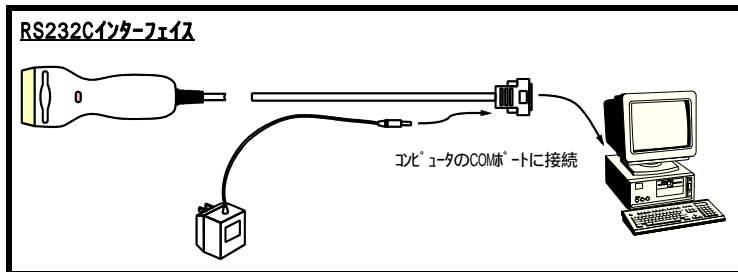
ご購入されたバーコードリーダーの型式が下記に当てはまる場合は、RS232C インターフェイスのバーコードリーダーです。

PulsarC-RS232

下記を参照して、バーコードリーダーをコンピュータに接続してください。



下記のようにコンピュータに接続してください。

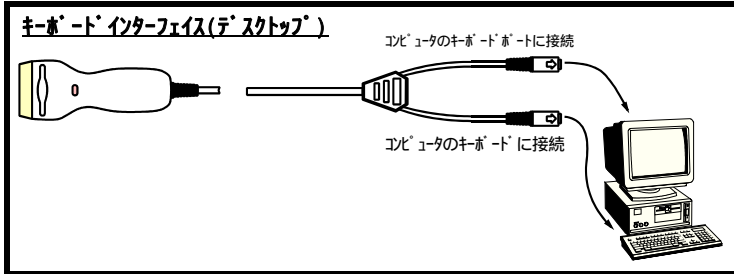


## 2.2 キーボードインターフェイス

ご購入されたバードリーダーの型式が下記に当てはまる場合は、デスクトップ型キーボードインターフェイスのバードリーダーです。

PulsarC-KBW

下記を参照して、バードリーダーをコンピュータに接続してください。

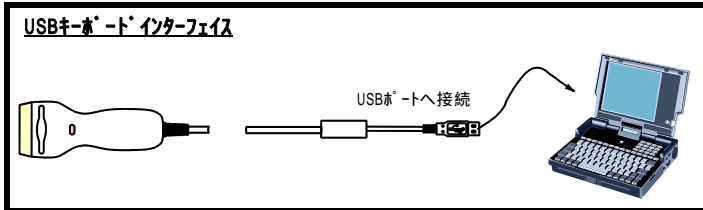


## 2.3 USB キーボードインターフェイス

ご購入されたパナソニック製のキーボードの型式が下記に当てはまる場合は、USB キーボード インターフェイスのキーボード リードです。

PulsarC-HID

下記を参照して、キーボード リードをコンピュータに接続してください。



コンピュータにキーボード リードを接続すると、HID ドライバが自動的にインストールされます。インストールが完了すれば、メニュー等のアプリケーションを立ち上げ、キーボード データが正しく入力できるかを確認してください。

### USB キーボード インターフェイス使用時の注意

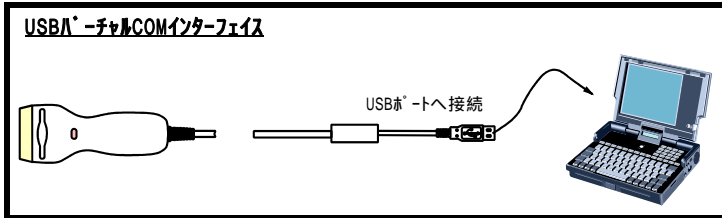
- USB キーボード インターフェイスは WINDOWS 98SE/ME/2000/XP/Vista/7 32ビット&64ビットなど USB-HID をサポートしたアラゴ &7 以降の OS で動作可能です。
- 読み取ったデータは、メニューなどのアプリケーションにキーボードからのデータと同じように入力されます。
- USB-HID ドライバの仕様上、1 台の PC に複数の USB キーボード インターフェイスのキーボード リードを接続することはできません。(同時に複数ポートからデータが入力された場合に、正しくデータ入力できないためです。)
- USB ハブ をご使用になる場合は、別パナソニック製 USB ハブ をご使用ください。パナソニック製 USB ハブ には対応しません。

## 2.4 USB バーチャル COM インターフェイス

ご購入されたバーコードリーダーの型式が下記に当てはまる場合は、USB バーチャル COM インターフェイスのバーコードリーダーです。

PulsarC-VCOM

下記を参照して、バーコードリーダーをコンピュータに接続してください。



USB バーチャル COM インターフェイス用の専用ドライバは、弊社 WEB サイトよりダウンロードしてください。

### USB バーチャル COM インターフェイス使用時の注意

- USB ハブ をご使用になる場合は、別売のワード USB ハブ をご使用ください。バスワード USB ハブ には対応しません。

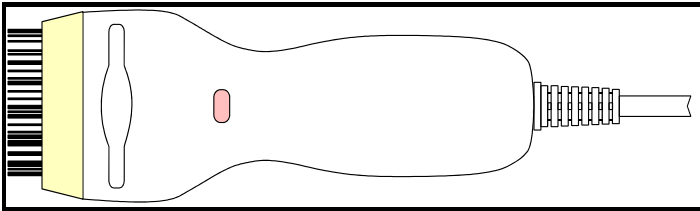


## 3. バーコードの読み取り操作

本章ではバーコードの読み取り操作について説明します。

### 3.1 バーコードを読み取る

バーコードリーダーでバーコードを読み取る場合は、下図に示す様にバーコードラベルのバーコードに対して、リーダーの読み取り窓ができるだけ垂直になるようにしてください。














Blank page

## 4. パラメータ設定

パ-コード リーダ のパラメータは本章に記載する専用マツドパ-コード を使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、コンピュータにパ-コード リーダ を正しく接続し、パ-コード の読み取りを行える状態にしてください。

### マツドパ-コード 表の使い方

<p><b>設定開始マツドパ-コード</b> このパ-コード をスキャンすると、パラメータ設定モードに入ります。</p>		<p><b>設定終了マツドパ-コード</b> このパ-コード をスキャンすると、パラメータの変更内容をセーブした後、通常動作に戻ります。</p>																
<p><b>マツドパ-コード 表</b> このマツドパ-コード をスキャンすることで、パラメータの変更が行えます。 16 進パ-コード の読み取りが必要な場合は、「補定 B 16 進パ-コード /マツドパ-コード 表」を使って、値を入力し、最後に確定パ-コード をスキャンします。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>マツドパ-コード</th> <th>説明</th> <th>デフォルト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td><b>補定文字:</b> 数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td><b>数値文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table>	マツドパ-コード	説明	デフォルト		<b>補定文字:</b> 数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■		<b>数値文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■	<p><b>デフォルト値</b> 工場出荷時の設定値を意味します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>マツドパ-コード</th> <th>説明</th> <th>デフォルト</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td><b>確定文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table>	マツドパ-コード	説明	デフォルト		<b>確定文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■
マツドパ-コード	説明	デフォルト																
	<b>補定文字:</b> 数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■																
	<b>数値文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■																
マツドパ-コード	説明	デフォルト																
	<b>確定文字:</b> 英数字 0-9 を英数字 0-9 からのパ-コードとして認識します。	■																

### 4.1 システムコマンド

マツドパ-コード	説明
<p>設定開始</p>  <p>6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 0 0</p>	パラメータ設定モードに入ります。
<p>設定終了</p>  <p>9 9 9 9</p>	パラメータ変更内容を保存し、パラメータ設定モードを終了します。
<p>キャンセル</p>  <p>9 9 9 8</p>	パラメータ変更内容を保存せずに、パラメータ設定モードを終了します。
<p>全デフォルト</p>  <p>9 9 9 3</p>	パラメータ設定内容を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。

## 4.2 バーコードリーダーの簡単セットアップ

本節ではバーコードリーダーを簡単にセットアップできる初期化メニューを掲載します。

設定終了後は、必ず、コンピュータとバーコードリーダーの電源を一旦切にして、電源の再投入を行ってください。

### 4.2.1 RS232C I/F の初期化

ご購入されたバーコードリーダーの型式が下記に当てはまる場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-RS232

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 1	RS232C I/F 9600/8/N/1 ハンドシェイク無し
 9 9 9 9	設定終了

## 4.2.2 キーボード・USB・ワンド I/F の初期化

### DOS/V キーボード、USB キーボード I/F の初期化

ご購入されたパソコンリーダーの型式が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが日本語キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 1	キーボード I/F 番号 12 DOS/V 日本語 106/109 キーボード
 9 9 0 2	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**AT キーボード、USB キーボード I/F の初期化**

ご購入されたパソコンの型番が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが英語キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 0	キーボード I/F 番号 01
 9 9 0 1	IBM AT 英語 101/104 キーボード 又は 英語 USB キーボード
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**IBM PS2-30 キーボード I/F の初期化**

ご購入されたパソコンの型式が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM PS2-30 系の場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 2	キーボード I/F 番号 27 IBM PS2-30 系キーボード
 9 9 0 7	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**IBM 3477 4 型日本語キーボード I/F の初期化**

ご購入されたパソコンの型番が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM 3477 4 型日本語キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 2	キーボード I/F 番号 26 IBM 3477 4 型キーボード
 9 9 0 6	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了



**IBM PS55 001-82 型キーボード I/F の初期化**

ご購入されたキーボードリーダの型式が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM PS55 001-82 型キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 1	キーボード I/F 番号 17 IBM PS55 001-82 型キーボード
 9 9 0 7	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**IBM PS55 001-8A 型キーボード I/F の初期化**

ご購入されたパソコンの型番が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM PS55 001-8A 型キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 1	キーボード I/F 番号 19 IBM PS55 001-8A 型キーボード
 9 9 0 9	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**IBM PS55 002(003)-82 型キーボード I/F の初期化**

ご購入されたキーボードの型式が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM PS55 002(003)-82 型キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 2	キーボード I/F 番号 23 IBM PS55 002-82 型キーボード 又は IBM PS55 003-82 型キーボード
 9 9 0 3	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

**IBM PS55 002(003)-8A 型キーボード I/F の初期化**

ご購入されたパソコンの型番が下記に当てはまり、お使いのコンピュータが IBM PS55 002(003)-8A 型キーボードの場合は、この初期化メニューをご使用ください。

PulsarC-KBW

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 9 9 9 3	全デフォルト
 0 0 0 0	キーボード I/F 設定
 9 9 0 2	キーボード I/F 番号 25 IBM PS55 002-8A 型キーボード 又は IBM PS55 003-8A 型キーボード
 9 9 0 5	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

### 4.2.3 プリフィックス/ポストフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったバーコードの前に付加される固定データ、ポストフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。

プリフィックス	バーコードデータ	ポストフィックス
---------	----------	----------

初期状態では、プリフィックス無し・ポストフィックス CR(Enter)です。変更が必要な場合は、下記から希望する専用メニューバーコードを順番に読み取ってください。また、任意の文字列を設定したい場合は、本書「4.11 プリフィックス/ポストフィックスの設定」を参照ください。

プリフィックス	無し
ポストフィックス	無し

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

プリフィックス	無し
ポストフィックス	CR(エンターキー)

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 0	CR(エンターキー)
 9 9 1 3	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了









プリフィックス	無し
ポストフィックス	インターキー(テンキー)

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 8	インターキー(テンキー)
 9 9 1 5	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

プリフィックス	無し
ポストフィックス	TAB キー








上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 0	TAB キー
 9 9 0 9	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了



プリフィックス	無し
ポストフィックス	実行キー(右 CTRL)

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 1	実行キー(右 CTRL)
 9 9 1 2	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

プリフィックス	無し
ポストフィックス	実行キー(右 ALT)

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 1	実行キー(右 ALT)
 9 9 1 3	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了


プリフィックス	無し
ポストフィックス	CR/LF

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 無し
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 0	CR(0DH)
 9 9 1 3	
 9 9 0 0	LF(0AH)
 9 9 1 0	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

プリフィックス	STX
ポストフィックス	ETX

上から順番に読み取ってください。

 6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 8 0 0	設定開始
 0 2 7 3	プリフィックス 設定
 9 9 0 0	STX(02H)
 9 9 0 2	
 9 9 9 4	確定
 0 2 7 4	ポストフィックス 設定
 9 9 0 0	ETX(03H)
 9 9 0 3	
 9 9 9 4	確定
 9 9 9 9	設定終了

## 4.3 パラメータリスト出力

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 5 0	パラメータリスト出力 - 1	
 9 9 5 1	パラメータリスト出力 - 2	
 9 9 5 2	パラメータリスト出力 - 3	
 9 9 5 3	パラメータリスト出力 - 4	
 9 9 5 4	パラメータリスト出力 - 5	
 9 9 5 5	パラメータリスト出力 - 6	
 9 9 5 6	パラメータリスト出力 - 7	
 9 9 5 7	パラメータリスト出力 - 8	
 9 9 5 8	パラメータリスト出力 - 9	
 9 9 5 9	パラメータリスト出力 - 10	

## 4.4 ブザー音の設定




設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 0 3 1 8	ブザー音 有り	
 0 3 1 9	ブザー音 無し	
 0 0 4 6	8 KHz	
 0 0 4 7	4 KHz	
 0 0 4 8	2 KHz	
 0 0 4 9	1 KHz	

## 4.5 キーボード I/F オプションの設定



### 4.5.1 CAPS ロックの設定



コマンドバースコード	説明	デフォルト
 0 0 0 3	<b>CAPS <u>ロック</u></b> キーボードからアルファベットを入力した時、大文字で入力される状態で使用している場合は、左記のコマンドバースコードをスキャンします。	
 0 0 0 4	<b>CAPS <u>ロック</u></b> キーボードからアルファベットを入力した時、小文字で入力される状態で使用している場合は、左記のコマンドバースコードをスキャンします。	■
 0 0 0 2	<b>CAPS <u>ロック</u>自動検出</b> CAPS <u>ロック</u> 状態を自動的に検出します。 <u>この設定はPC-AT及びDOS/V機で動作します。<sup>1</sup></u>	

### 4.5.2 数字データ送信方法の設定





コマンドバースコード	説明	デフォルト
 0 0 1 4	<b>英数字キー(フルキー)</b> 数字データを英数字キーボード(フルキー)からのデータとして送信します。	■
 0 0 1 3	<b>数値キーボード(テンキー)</b> 数字データを数値キーボード(テンキー)からのデータとして送信します。	

<sup>1</sup> 一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。



## 4.5.3 ALT シーケンスの設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 3 3 5	<b>ALTシーケンスをオン</b> キーボードデータを ALT+テンキーで入力します。 例えば、A は ALT+65 と入力されます。	
 0 3 3 4	<b>ALTシーケンスをオフ</b> ALTシーケンスをオフにします。	■

## 4.5.4 DOS/V ノートブックオプションの設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 3 8 9	<b>外付キーボード無し</b> <sup>2</sup> 外付のフルキーボード <sup>2</sup> 又はテンキーボードを接続せずにバーコードリーダーを利用する場合に設定します。	
 0 3 8 8	<b>外付キーボード有り</b> 外付のフルキーボード <sup>2</sup> 又はテンキーボードを接続して、バーコードリーダーを利用する場合に設定します。	■

<sup>2</sup> 一部のパソコンでは、正しく動作しない場合があります。



## 4.6 RS232C I/F オプションの設定

### 4.6.1 送信モードの設定



コマドバ-コード	説明	デフォルト
 0 0 3 8	<b>全二重 (ツグル初対応)</b> デコードされたデータは、メイン初から無手順でホスト PC に送信されます。RTS/CTS ハンドシェイクは行いません。	■
 0 0 3 9	<b>半二重 (デュアル初対応)</b> デコードされたデータは、メイン初とサブ初から無手順でホスト PC に送信されます。RTS/CTS ハンドシェイクは行いません。	
 0 0 4 2	<b>無し</b> 70-コントロールを行いません。	■
 0 0 4 3	<b>ステアルディ</b> PulsarC シリーズは電源が投入されると、自身の RTS ラインをアクティブにします。デコードされたデータは、自身の CTS ラインがアクティブになると、メイン初から送信されます。	
 0 0 4 4	<b>データディ</b> PulsarC シリーズはデータをデコードすると、自身の RTS ラインをアクティブにし、自身の CTS ラインがアクティブになると、メイン初からそのデータを送信します。	
 0 0 4 5	<b>データディ(反転)</b> RTS 回路の論理が反転することを除いて、データディと同じ動作を行います。	




### 4.6.2 ポーレートの設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 1 6	38,400 bps	
 0 0 1 7	19,200 bps	
 0 0 1 8	9,600 bps	■
 0 0 1 9	4,800 bps	
 0 0 2 0	2,400 bps	
 0 0 2 1	1,200 bps	
 0 0 2 2	300 bps	
 0 0 2 3	110 bps	



### 4.6.3 パリティの設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 2 8	無し	■
 0 0 2 9	偶数	
 0 0 3 0	奇数	

### 4.6.4 データビットの設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 3 4	8 ビット	■
 0 0 3 5	7 ビット	

## 4.7 バーコードリーダーに関する設定

## 4.7.1 読み取りモードの設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 6 6	<b>オートモード</b> トリガボタンを押すと、バーコードの読み取りを開始します。バーコードの読み取りに成功するか、シャットアウトで設定された時間が経過すると、読み取りを終了します。	■
 0 0 6 7	<b>コティンクスモード</b> 常にバーコード読み取り状態となります。	
 0 0 6 8	<b>オートワークモード</b> トリガボタンを押すと、バーコードの読み取りを開始します。バーコードの読み取りに成功すると、シャットアウトを再カットし、読み取りを続けます。シャットアウトで設定された時間が経過すると、読み取りを終了します。	
 0 0 6 9	<b>オルナートモード</b> トリガボタンを一度押すと、バーコードの読み取り状態となり、再度トリガボタンを押すと、読み取りを終了します。	
 0 0 7 0	<b>メモリアルモード</b> トリガボタンを押している間、バーコードの読み取りを行い、トリガボタンを離すと、読み取りを終了します。	
 0 0 7 1	<b>リピートモード</b> 常にバーコード読み取り状態となります。バーコードを読み取った後、2秒以内にトリガボタンを押すと、直前に読み取ったバーコードデータを再送信します。この機能はPOSシステム等で、同一の商品バーコードを続けて、入力する場合に有効です。	
 0 0 7 2	<b>レーザモード</b> トリガボタンを押すと、バーコードの読み取りを行い、バーコードの読み取りに成功するか、トリガボタンを離すと、読み取りを終了します。	
 0 0 7 3	<b>リストモード</b> 常に読み取り状態となり、同一バーコードも連続して読み取ることができます。読み取りリストを行う場合に使用します。	



## 4.7.2 データ照合の設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 2 0 1	データ照合無し データ照合を行いません。	■
 0 2 0 2	データ照合 1 回	
 0 2 0 3	データ照合 2 回	
 0 2 0 4	データ照合 3 回	


## 4.7.3 ネガバーコード読み取りの設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 1 9 9	ネガバーコード読み取り有り	
 0 2 0 0	ネガバーコード読み取り無し	■


## 4.7.4 スキャナタイムアウトの設定



コマンドバースト	説明	デフォルト
 0 2 0 7	<p><b>スキャナタイムアウト</b></p> <p>スキャナタイムアウトを設定する場合は、左記のコマンドバーストラベルをスキャンした後、16進バースト(本書 補足 B)で2桁の値を入力し、最後に確定バーストをスキャンします。</p> <p>設定範囲は 01 秒~99 秒です。</p> <p>尚、スキャナタイムアウトは、読み取りモードが<b>オートフェード</b>又は<b>オートフェード</b>に設定されている場合のみ有効です。</p>	10

## 4.8 キャラクタ間ディレイの設定



コマンドバースト	説明	デフォルト
 0 0 1 5	<p><b>キャラクタ間ディレイ設定</b></p> <p>キャラクタ間ディレイを設定する場合は、左記のコマンドバーストラベルをスキャンした後、16進バースト(本書 補足 B)を使って、0~255msec の範囲で設定します。</p>	0

4.9 既定コード ID 送信の設定<sup>3</sup>




















コマンドバーコード	説明	デフォルト
 9 9 6 0	<b>コード ID 送信無し</b> コード ID キャラクタの送信を行いません。	■
 9 9 6 1	<b>コード ID セット 1</b> コード ID セット 1 を適用します。	
 9 9 6 2	<b>コード ID セット 2</b> コード ID セット 2 を適用します。	
 9 9 6 3	<b>コード ID セット 3</b> コード ID セット 3 を適用します。	
 9 9 6 4	<b>コード ID セット 4</b> コード ID セット 4 を適用します。	
 9 9 6 5	<b>コード ID セット 5</b> コード ID セット 5 を適用します。	

バーコード シンボル	セット 1	セット 2	セット 3	セット 4	セット 5
コード 39	A	C	Y	M	A
イタリアファーマコード	A	C	Y	M	A
フランスファーマコード	A	C	Y	M	A
インダストリアル 25	C	H	H	H	S
インダリブ 25	D	I	Z	I	S
マトリクス 25	E	G	G	G	S
ユーザバー (NW7)	F	N	X	N	F
コード 93	I	L	L	L	G
コード 128	H	K	K	K	C
UPCE	S	E	C	E	E
JAN/EAN8	P	B	B	FF	E
JAN/EAN13	M	A	A	F	E
MSI	V	V	D	P	M
Plessey	W	W	E	Q	P
UPCA	J	A	A	A	E
MSR ショップトラック	X	X	M	R	Z
MSR デュアルトラック	Y	Y	N	S	Z

<sup>3</sup> 各バーコードシンボルに任意のコード ID を設定することもできます。  
 「4.10 ユーザバーコード ID の設定」を参照下さい。

## 4.10 ユーザーコード ID の設定



設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

<u>バーコードシンボルタイプ</u>	下記のバーコードシンボルタイプをセットした後、 16進バーコード及びヒステリシス(本書 補足 B) を使って、2文字までのコード ID を設定し ます。
 0 2 5 6 コード 39	イタリアンコード  0 2 5 7
 0 2 5 8 フランスコード	イタリアン 25  0 2 5 9
 0 2 6 0 インターリーブド 25	マトリクス 25  0 2 6 1
 0 2 6 2 コーダバー (NW7)	コード 93  0 2 6 3
 0 2 6 4 コード 128	UPCE  0 2 6 5
 0 2 6 6 JAN/EAN8	JAN/EAN13  0 2 6 7
 0 2 6 8 MSI	Plessey  0 2 6 9
 0 2 7 0 UPCA	MSR シングルトラック  0 2 7 1
 0 2 7 2 MSR デュアルトラック	PDF417  0 4 0 2
	コード ID 全クリア  9 9 6 0



## 4.11 プリフィックス/ポストフィックスの設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 2 7 3	<b>プリフィックス設定</b> プリフィックスを設定する場合は、左記のコマンドバーコードラベルをスキャンした後、16進バーコード及びステータスキー(本書 補足 B)を使って、4文字までのプリフィックスを設定します。	
 0 2 7 4	<b>ポストフィックス設定</b> ポストフィックスを設定する場合は、左記のコマンドバーコードラベルをスキャンした後、16進バーコード及びステータスキー(本書 補足 B)を使って、4文字までのポストフィックスを設定します。	0D

## 4.12 キャラクタ置換の設定



コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 0 3 0 9	<p><b>キャラクタ置換 セット1</b></p> <p>キャラクタ置換セット1を設定する場合は、左記のコマンドバ-コードラベルをスキャンした後、対象となるキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、続けて置換えたいキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、最後に確定バ-コードをスキャンします。</p> <p>例) 0 というキャラクタを*に置換えたい場合            &lt;キャラクタ置換セット1&gt; &lt;3&gt;&lt;0&gt;&lt;2&gt;&lt;A&gt;&lt;確定&gt;            という順番でスキャンします。</p>	
 0 3 1 0	<p><b>キャラクタ置換 セット2</b></p> <p>キャラクタ置換セット2を設定する場合は、左記のコマンドバ-コードラベルをスキャンした後、対象となるキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、続けて置換えたいキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、最後に確定バ-コードをスキャンします。</p> <p>例) * というキャラクタを削除したい場合            &lt;キャラクタ置換セット2&gt; &lt;2&gt;&lt;A&gt;&lt;確定&gt;            という順番でスキャンします。</p>	
 0 3 1 1	<p><b>キャラクタ置換 セット3</b></p> <p>キャラクタ置換セット3を設定する場合は、左記のコマンドバ-コードラベルをスキャンした後、対象となるキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、続けて置換えたいキャラクタを16進バ-コード(本書 補足B)で設定し、最後に確定バ-コードをスキャンします。</p> <p>例) 9 というキャラクタを@に置換えたい場合            &lt;キャラクタ置換セット3&gt; &lt;3&gt;&lt;9&gt;&lt;4&gt;&lt;0&gt;&lt;確定&gt;            という順番でスキャンします。</p>	

## 4.13 読み取りバーコードの設定










### 4.13.1 コード 39 の設定



コードバーコード	説明	デフォルト
 0 0 7 4	コード 39 読み取り有り	■
 0 0 7 5	コード 39 を読み取り無し	
 0 1 2 2	コード 39 フルアスキーを読み取り有り	
 0 1 2 3	コード 39 フルアスキーを読み取り無し	■
 0 1 1 6	スタート/ストップ コード 送信有り	
 0 1 1 7	スタート/ストップ コード 送信無し	■
 0 1 1 8	チェックディジット有り	
 0 1 1 9	チェックディジット無し	■
 0 1 2 0	チェックディジット送信有り	■
 0 1 2 1	チェックディジット送信無し	
 0 2 2 4	桁数送信有り	
 0 2 2 5	桁数送信無し	■

## 4.13.2 インダストリアル 2/5 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 0 0 8 0	インダストリアル 2/5 読み取り有り	■
 0 0 8 1	インダストリアル 2/5 読み取り無し	
 0 1 3 0	スタート/ストップ インダストリアル 25	■
 0 1 3 1	スタート/ストップ インターリーブド 25	
 0 1 3 2	スタート/ストップ マトリクス 25	
 0 1 3 9	チェックディジット有り	
 0 1 4 0	チェックディジット無し	■
 0 1 4 1	チェックディジット送信有り	■
 0 1 4 2	チェックディジット送信無し	
 0 2 3 0	桁数送信有り	
 0 2 3 1	桁数送信無し	■

桁数チェックを有効にした場合は、最大桁数/固定桁数 1・最小桁数/固定桁数 2 を設定して下さい。		
 0 2 0 8	最大/最小桁数チェック有り	
 0 2 0 9	固定桁数チェック有り	
 0 2 1 0	<b>最大桁数/固定桁数 1</b> 最大桁数/固定桁数 1 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	
 0 2 1 1	<b>最小桁数/固定桁数 2</b> 最小桁数/固定桁数 2 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	

## 4.13.3 インターリーブド 2/5 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 8 2	インターリーブド 2/5 読み取り有り	■
 0 0 8 3	インターリーブド 2/5 読み取り無し	
 0 1 3 3	スタートストップ インターストリアル 25	
 0 1 3 4	スタートストップ インターリーブド 25	■
 0 1 3 5	スタートストップ マトリクス 25	
 0 1 4 3	チェックディジット有り	
 0 1 4 4	チェックディジット無し	■
 0 1 4 5	チェックディジット送信有り	■
 0 1 4 6	チェックディジット送信無し	
 0 2 3 2	桁数送信有り	
 0 2 3 3	桁数送信無し	■

桁数チェックを有効にした場合は、最大桁数/固定桁数 1・最小桁数/固定桁数 2 を設定して下さい。		
	最大/最小桁数チェック有り	
	固定桁数チェック有り	
	<b>最大桁数/固定桁数 1</b> 最大桁数/固定桁数 1 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	
	<b>最小桁数/固定桁数 2</b> 最小桁数/固定桁数 2 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	

### 4.13.4 マトリクス 2/5 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバ - コード	説明	デフォルト
 0 0 8 4	マトリクス 2/5 読み取り有り	
 0 0 8 5	マトリクス 2/5 読み取り無し	■
 0 1 3 6	スタートストップ インタ スリアル 25	
 0 1 3 7	スタートストップ インターリーブ 25	
 0 1 3 8	スタートストップ マトリクス 25	■
 0 1 4 7	チェック イジ ット有り	
 0 1 4 8	チェック イジ ット無し	■
 0 1 4 9	チェック イジ ット送信有り	■
 0 1 5 0	チェック イジ ット送信無し	
 0 2 3 4	桁数送信有り	
 0 2 3 5	桁数送信無し	■



桁数チェックを有効にした場合は、最大桁数/固定桁数 1 ・最小桁数/固定桁数 2 を設定して下さい。		
 0 2 1 6	最大/最小桁数チェック有り	
 0 2 1 7	固定桁数チェック有り	
 0 2 1 8	<b>最大桁数/固定桁数 1</b> 最大桁数/固定桁数 1 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	
 0 2 1 9	<b>最小桁数/固定桁数 2</b> 最小桁数/固定桁数 2 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	

## 4.13.5 MSI の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 0 1 1 2	MSI 読み取り有り	
 0 1 1 3	MSI 読み取り無し	■
 0 1 6 7	チェックイット シングル Mod..10	■
 0 1 6 8	チェックイット ダブル Mod.10	
 0 1 6 9	チェックイット Mod.11 & 10	
 0 1 7 0	チェックイット送信 最終桁送信無し	■
 0 1 7 1	チェックイット送信 有り	
 0 1 7 2	チェックイット送信 最終2桁送信無し	
 0 2 4 8	桁数送信有り	
 0 2 4 9	桁数送信無し	■

桁数チェックを有効にした場合は、最大桁数/固定桁数 1 ・最小桁数/固定桁数 2 を設定して下さい。		
 0 2 2 0	最大/最小桁数チェック有り	
 0 2 2 1	固定桁数チェック有り	
 0 2 2 2	<b>最大桁数/固定桁数 1</b> 最大桁数/固定桁数 1 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	
 0 2 2 3	<b>最小桁数/固定桁数 2</b> 最小桁数/固定桁数 2 を設定する場合は、左記のマトリックスコードラベルをスキャンした後、16進バースコード(本書 補足 B)を使って、2 桁の数値を入力します。	

## 4.13.6 コーダバー (NW7)の設定



コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 8 6	コマンドバー - 読み取り有り	■
 0 0 8 7	コマンドバー - 読み取り無し	
 0 1 5 5	スタート/ストップコード 送信有り	
 0 1 5 6	スタート/ストップコード 送信無し	■
 0 1 5 1	スタート/ストップコード abcd/abcd	■
 0 1 5 2	スタート/ストップコード abcd/tn*e	
 0 1 5 3	スタート/ストップコード ABCD/ABCD	
 0 1 5 4	スタート/ストップコード ABCD/TN*E	
 0 1 5 7	CLSI 変換有り	
 0 1 5 8	CLSI 変換無し	■

## 4.13.7 UPCA の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバ - コード	説明	デフォルト
 0 2 9 1	UPCA 読み取り有り	■
 0 2 9 2	UPCA 読み取り無し	
 0 2 9 3	UPCA 7桁 2 読み取り有り	
 0 2 9 4	UPCA 7桁 2 読み取り無し	■
 0 2 9 5	UPCA 7桁 5 読み取り有り	
 0 2 9 6	UPCA 7桁 5 読み取り無し	■
 0 1 7 7	UPCA -> EAN13 変換有り	■
 0 1 7 8	UPCA -> EAN13 変換無し	
 0 1 9 3	システムバ - 送信有り	■
 0 1 9 4	システムバ - 送信無し	
 0 1 8 5	チェックディジット送信有り	■
 0 1 8 6	チェックディジット送信無し	
 0 2 3 6	桁数送信有り	
 0 2 3 7	桁数送信無し	■

## 4.13.8 UPCE の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 9 2	UPCE 読み取り有り	■
 0 0 9 3	UPCE 読み取り無し	
 0 0 9 4	UPCE 7ドット2読み取り有り	
 0 0 9 5	UPCE 7ドット2読み取り無し	■
 0 0 9 6	UPCE 7ドット5読み取り有り	
 0 0 9 7	UPCE 7ドット5読み取り無し	■
 0 2 8 7	システムバ - 0&1	
 0 2 8 8	システムバ - 0	■
 0 1 7 5	UPC-E -> UPC-A 変換有り	
 0 1 7 6	UPC-E -> UPC-A 変換無し	■
 0 1 9 1	システムバ - 送信有り	
 0 1 9 2	システムバ - 送信無し	■
 0 1 8 3	チェックディジット送信有り	■
 0 1 8 4	チェックディジット送信無し	
 0 2 4 2	桁数送信有り	
 0 2 4 3	桁数送信無し	■

## 4.13.9 JAN/EAN-8 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドコード	説明	デフォルト
 0 0 9 8	JAN/EAN-8 読み取り有り	■
 0 0 9 9	JAN/EAN-8 読み取り無し	
 0 1 0 0	EAN-8 アドカ2 読み取り有り	
 0 1 0 1	EAN-8 アドカ2 読み取り無し	■
 0 1 0 2	EAN-8 アドカ5 読み取り有り	
 0 1 0 3	EAN-8 アドカ5 読み取り無し	■
 0 1 9 5	EAN8 -> EAN13 変換有り	
 0 1 9 6	EAN8 -> EAN13 変換無し	■
 0 1 8 7	チェックディジット送信有り	■
 0 1 8 8	チェックディジット送信無し	
 0 2 4 4	桁数送信有り	
 0 2 4 5	桁数送信無し	■

## 4.13.10 JAN/EAN-13 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 1 0 6	JAN/EAN-13 読み取り有り	■
 0 1 0 7	JAN/EAN-13 読み取り無し	
 0 1 0 8	EAN-13 アドバンス2 読み取り有り	
 0 1 0 9	EAN-13 アドバンス2 読み取り無し	■
 0 1 1 0	EAN-13 アドバンス5 読み取り有り	
 0 1 1 1	EAN-13 アドバンス5 読み取り無し	■
 0 1 7 9	ISBN 変換有り	
 0 1 8 0	ISBN 変換無し	■
 0 1 8 1	ISSN 変換有り	
 0 1 8 2	ISSN 変換無し	■
 0 1 8 9	チェックディジット送信有り	■
 0 1 9 0	チェックディジット送信無し	
 0 2 4 6	桁数送信有り	
 0 2 4 7	桁数送信無し	■



## 4.13.11 コード 93 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 8 8	コード 93 読み取り有り	■
 0 0 8 9	コード 93 を読み取り無し	
 0 2 3 8	桁数送信有り	
 0 2 3 9	桁数送信無し	■

## 4.13.12 コード 128 の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 0 9 0	コード 128 読み取り有り	■
 0 0 9 1	コード 128 読み取り無し	
 0 2 4 0	桁数送信有り	
 0 2 4 1	桁数送信無し	■

## 4.13.13 RSS(GS1 Databar)の設定








コマンド	説明	デフォルト
 0 4 1 2	RSS14 読み取り有り	
 0 4 1 3	RSS14 読み取り無し	■
 0 4 1 4	RSS リミテッド 読み取り有り	
 0 4 1 5	RSS リミテッド 読み取り無し	■
 0 4 1 6	RSS エクスプレッド 読み取り有り	
 0 4 1 7	RSS エクスプレッド 読み取り無し	■
 0 4 3 2	RSS コード ID <Jc1 >	
 0 4 3 3	RSS コード ID <Je0 >	■
 0 4 1 8	RSS14 コード ID 送信有り	■
 0 4 1 9	RSS14 コード ID 送信無し	
 0 4 2 4	RSS14 アプリケーション ID 送信有り	■
 0 4 2 5	RSS14 アプリケーション ID 送信無し	
 0 4 2 8	RSS14 チェックサム送信有り	■
 0 4 2 9	RSS14 チェックサム送信無し	

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

 0 4 2 0	RSS リミット コード ID 送信有り	■
 0 4 2 1	RSS リミット コード ID 送信無し	
 0 4 2 6	RSS リミット アプリケーション ID 送信有り	■
 0 4 2 7	RSS リミット アプリケーション ID 送信無し	
 0 4 3 0	RSS リミット チェックアウト 送信有り	■
 0 4 3 1	RSS リミット チェックアウト 送信無し	
 0 4 2 2	RSS インパルゼット コード ID 送信有り	■
 0 4 2 3	RSS インパルゼット コード ID 送信無し	
 0 2 9 9	桁数送信有り	
 0 3 0 0	桁数送信無し	■

## 4.13.14 UCC/EAN128(GS1-128)の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 0 1 0 4	UCC/EAN128 読み取り有り	
 0 1 0 5	UCC/EAN128 読み取り無し	■
 0 2 9 9	桁数送信有り(RSS 共通)	
 0 3 0 0	桁数送信無し(RSS 共通)	■
 0 3 0 1	<p><b>GS置換キャラクタ</b></p> <p>GS 置換キャラクタを設定する場合は、左記のコマンドバーコードをスキャンした後、16進バーコード及びステータスキー(本書 補足 B)を使って、置換えたいキャラクタを設定します。</p> <p><b>GS(グループセパレータ)置換キャラクタとは、可変長AIコードの区切りを示す FNC1コードを置換するためのキャラクタです。</b></p> <p>例) GS を * に置換えたい場合            &lt;GS 置換キャラクタ&gt;&lt;2&gt;&lt;A&gt;&lt;確定&gt;            という順番でスキャンします。</p>	

## 4.13.15 Plessey の設定

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンドバースコード	説明	デフォルト
 0 1 1 4	Plessey 読み取り有り	
 0 1 1 5	Plessey 読み取り無し	■
 0 2 5 0	桁数送信有り	
 0 2 5 1	桁数送信無し	■

Blank page

## 5. データ編集機能

PulsarC シリーズ バージョリダは非常にフルキブルなデータ編集機能を装備しています。下記にデータ編集機能の特徴を列挙します。















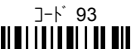

















- ◆ 編集パターを 3 パター (編集パター 1~3) まで登録可能
- ◆ 編集パターは個別に有効/無効の設定が可能
- ◆ 編集パターには下記の適用条件を指定することが可能
  - ・ バージョリダ シホ ヲイ
  - ・ データの桁数
  - ・ 指定文字列/指定文字列位置
- ◆ 終了文字列又は文字数を基準として、データを最大 6 つのフィールドに分割可能
- ◆ 最大 5 つのオ ヲソフィールドを設定可能  
各オ ヲソフィールドには、任意の 4 文字までの文字列が設定可能
- ◆ 分割したフィールド及びオ ヲソフィールドを任意の順序で送信可能  
最大 12 フィールドの範囲で、各フィールドの重複送信も可能

下記に編集パターの登録手順を示します。



1. プロダミグモードに入ります。
2. 編集パターエリアを指定します。
3. 編集パターの適用条件を指定します。
4. データを幾つのフィールドに分割するかを指定します。
5. 何を基準に各フィールドを分割するかを指定します。  
(終了文字列・文字数)  
データを 3 分割したい場合は、フィールド 1~2 に対して、この設定を行います。最後のフィールドについては、バージョリダが自動的に割り当てを行います。
6. 必要があれば、オ ヲソフィールドに任意の 4 文字までの文字列を設定します。
7. 最後に送信順序指定を行い、「編集パター確定」バージョリダと「設定終了」バージョリダを読み取ります。



編集パターの実際の登録には、次頁以降のオ ヲソバージョリダを使用します。

## 5.1 編集パターンの登録

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9		
編集パターンを登録するエリア			
 9 9 8 1 編集パターン1	 9 9 8 2 編集パターン2	 9 9 8 3 編集パターン3	
対象となるデータのバーコードシボ ルタイプ			
 9 9 9 1 クリア	 全バーコードシボ ル 9 9 9 2	 0 5 0 0 コード 39	 0 5 0 2 93 コード 93
 0 5 0 4 フォンス・ファーマコード	 0 5 0 6 インターストリアル 25	 0 5 0 8 インターアップド 25	 0 5 1 0 マトリクス 25
 0 5 1 2 コーダバ - (NW7)	 0 5 1 4 コード 93	 0 5 1 6 コード 128	 0 5 1 8 UPCE
 0 5 2 0 UPCE アド カ 2	 0 5 2 2 UPCE アド カ 5	 0 5 2 4 JAN/EAN8	 0 5 2 6 EAN8 アド カ 2
 0 5 2 8 EAN8 アド カ 5	 0 5 3 2 JAN/EAN13	 0 5 3 4 EAN13 アド カ 2	 0 5 3 6 EAN13 アド カ 5
 0 5 8 4 UPCA	 0 5 8 6 UPCA アド カ 2	 0 5 8 8 UPCA アド カ 5	 0 5 3 8 MSI
 0 5 4 0 Plessey	UCC/EAN128(GS1-128) & RSS(GS1 Databar)  0 5 9 0		
編集パターン登録確定  9 9 8 0			

























設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--



対象となるデータの桁数	
 0 5 4 8 最大桁数設定	最小桁数設定  0 5 4 9

対象となるデータに含まれる文字列（照合文字列）	
 0 5 5 0 照合文字列設定	

照合文字列の位置	
 0 5 5 1 照合文字列の位置設定	

総フィールド数		
 0 5 7 8 1 フィールド	2 フィールド  0 5 7 9	 0 5 8 0 3 フィールド
 0 5 8 1 4 フィールド	5 フィールド  0 5 8 2	 0 5 8 3 6 フィールド

16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	1  9 9 0 1	2  9 9 0 2	3  9 9 0 3
4  9 9 0 4	5  9 9 0 5	6  9 9 0 6	7  9 9 0 7
8  9 9 0 8	9  9 9 0 9	A  9 9 1 0	B  9 9 1 1
C  9 9 1 2	D  9 9 1 3	E  9 9 1 4	F  9 9 1 5

確定  9 9 9 4	編集ボタン登録確定  9 9 8 0
--	---

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--



フィールド 1			
 0 5 5 5	<b>区切り文字列設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進数バーコードを使用して 2 文字までの文字列を指定します。		
 0 5 5 2	<b>区切り文字列をフィールド 内に含む</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド 内に含めます。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123AB となります。		
 0 5 5 3	<b>区切り文字列をフィールド 内に含まない</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド 内に含めません。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123 となり、AB は破棄されます。		
 0 5 5 4	<b>区切り文字数設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進数バーコードを使用して、フィールドの区切りを行う文字数を設定します。		
16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	 9 9 0 1 1	 9 9 0 2 2	 9 9 0 3 3
 9 9 0 4 4	 9 9 0 5 5	 9 9 0 6 6	 9 9 0 7 7
 9 9 0 8 8	 9 9 0 9 9	 9 9 1 0 A	 9 9 1 1 B
 9 9 1 2 C	 9 9 1 3 D	 9 9 1 4 E	 9 9 1 5 F
確定  9 9 9 4		編集ボタン登録確定  9 9 8 0	

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

フィールド 2			
 0 5 5 9	<b>区切り文字列設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して 2 文字までの文字列を指定します。		
 0 5 5 6	<b>区切り文字列をフィールド内に含む</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めます。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123AB となります。		
 0 5 5 7	<b>区切り文字列をフィールド内に含まない</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めません。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123 となり、AB は破棄されます。		
 0 5 5 8	<b>区切り文字数設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して、フィールドの区切りを行う文字数を設定します。		
16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	 1 9 9 0 1	 9 9 0 2 2	 3 9 9 0 3
 9 9 0 4 4	 5 9 9 0 5	 9 9 0 6 6	 7 9 9 0 7
 9 9 0 8 8	 9 9 9 0 9	 9 9 1 0 A	 B 9 9 1 1
 9 9 1 2 C	 D 9 9 1 3	 9 9 1 4 E	 F 9 9 1 5
確定  9 9 9 4		編集バーコード登録確定  9 9 8 0	

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

フィールド 3			
 0 5 6 3	<b>区切り文字列設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して 2 文字までの文字列を指定します。		
 0 5 6 0	<b>区切り文字列をフィールド内に含む</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めます。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123AB となります。		
 0 5 6 1	<b>区切り文字列をフィールド内に含まない</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めません。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123 となり、AB は破棄されます。		
 0 5 6 2	<b>区切り文字数設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して、フィールドの区切りを行う文字数を設定します。		
16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	 1 9 9 0 1	 9 9 0 2 2	 3 9 9 0 3
 9 9 0 4 4	 5 9 9 0 5	 9 9 0 6 6	 7 9 9 0 7
 9 9 0 8 8	 9 9 9 0 9	 9 9 1 0 A	 B 9 9 1 1
 9 9 1 2 C	 D 9 9 1 3	 9 9 1 4 E	 F 9 9 1 5
確定  9 9 9 4		編集ボタン登録確定  9 9 8 0	
























設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

フィールド 4			
 0 5 6 7	<b>区切り文字列設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して 2 文字までの文字列を指定します。		
 0 5 6 4	<b>区切り文字列をフィールド内に含む</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めます。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123AB となります。		
 0 5 6 5	<b>区切り文字列をフィールド内に含まない</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めません。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123 となり、AB は破棄されます。		
 0 5 6 6	<b>区切り文字数設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して、フィールドの区切りを行う文字数を設定します。		
16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	 9 9 0 1 1	 9 9 0 2 2	 9 9 0 3 3
 9 9 0 4 4	 9 9 0 5 5	 9 9 0 6 6	 9 9 0 7 7
 9 9 0 8 8	 9 9 0 9 9	 9 9 1 0 A	 9 9 1 1 B
 9 9 1 2 C	 9 9 1 3 D	 9 9 1 4 E	 9 9 1 5 F
確定  9 9 9 4		編集バーコード登録確定  9 9 8 0	


設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

フィールド 5			
 0 5 7 1	<b>区切り文字列設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して 2 文字までの文字列を指定します。		
 0 5 6 8	<b>区切り文字列をフィールド内に含む</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めます。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123AB となります。		
 0 5 6 9	<b>区切り文字列をフィールド内に含まない</b> 区切り文字列として指定したデータをフィールド内に含めません。 例えば、区切り文字列が AB でデータが 123AB456 の場合、フィールド 1 = 123 となり、AB は破棄されます。		
 0 5 7 0	<b>区切り文字数設定</b> 左記のバーコードをスキャンした後、下記の 16 進バーコードを使用して、フィールドの区切りを行う文字数を設定します。		
16 進数バーコード			
 9 9 0 0 0	 1 9 9 0 1	 9 9 0 2 2	 3 9 9 0 3
 9 9 0 4 4	 5 9 9 0 5	 9 9 0 6 6	 7 9 9 0 7
 9 9 0 8 8	 9 9 9 0 9	 9 9 1 0 A	 B 9 9 1 1
 9 9 1 2 C	 D 9 9 1 3	 9 9 1 4 E	 F 9 9 1 5
確定  9 9 9 4		編集ボタン登録確定  9 9 8 0	

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

αβ γδ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω			
 0 5 7 2	<b>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω 1 設定</b> 左記のβ-コードをスキャンした後、下記の16進β-コードを使用して4文字までの文字列を指定します。		
 0 5 7 3	<b>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω 2 設定</b> 左記のβ-コードをスキャンした後、下記の16進β-コードを使用して4文字までの文字列を指定します。		
 0 5 7 4	<b>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω 3 設定</b> 左記のβ-コードをスキャンした後、下記の16進β-コードを使用して4文字までの文字列を指定します。		
 0 5 7 5	<b>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω 4 設定</b> 左記のβ-コードをスキャンした後、下記の16進β-コードを使用して4文字までの文字列を指定します。		
 0 5 7 6	<b>α β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω 5 設定</b> 左記のβ-コードをスキャンした後、下記の16進β-コードを使用して4文字までの文字列を指定します。		
16進数β-コード			
 9 9 0 0 0	 1 9 9 0 1	 9 9 0 2 2	 3 9 9 0 3
 9 9 0 4 4	 5 9 9 0 5	 9 9 0 6 6	 7 9 9 0 7
 9 9 0 8 8	 9 9 9 0 9	 9 9 1 0 A	 B 9 9 1 1
 9 9 1 2 C	 D 9 9 1 3	 9 9 1 4 E	 F 9 9 1 5
確定  9 9 9 4	編集β-タ-登録確定  9 9 8 0		

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

フィールド 送信順序 <sup>1</sup> 送信順序設定開始  0 5 7 7	
 9 9 0 1 フィールド` 1	 9 9 0 7 オブ`ジョフィールド` 1
 9 9 0 2 フィールド` 2	 9 9 0 8 オブ`ジョフィールド` 2
 9 9 0 3 フィールド` 3	 9 9 0 9 オブ`ジョフィールド` 3
 9 9 0 4 フィールド` 4	 9 9 1 0 オブ`ジョフィールド` 4
 9 9 0 5 フィールド` 5	 9 9 1 1 オブ`ジョフィールド` 5
 9 9 0 6 フィールド` 6	

確定  9 9 9 4	編集ボタン登録確定  9 9 8 0
--	---

<sup>1</sup> 同一のフィールド`を重複して何度でも送信することが可能ですが、送信フィールド`数は12フィールド`を超えてはいけません。



## 5.2 編集パターンの選択

設定開始  6 4 3 8 8 6 6 6 4 3 8 8 0 0	設定終了  9 9 9 9
--	--

コマンド	説明	デフォルト
 0 2 8 1	編集パターン1有効	
 0 2 8 2	編集パターン1無効	■
 0 2 8 3	編集パターン2有効	
 0 2 8 4	編集パターン2無効	■
 0 2 8 5	編集パターン3有効	
 0 2 8 6	編集パターン3無効	■
 0 2 7 9	エクステルナルデータ編集有効 <sup>2</sup>	
 0 2 8 0	エクステルナルデータ編集無効	■

















<sup>2</sup> エクステルナルデータ編集を有効にすると、全読取データに対して、有効に設定されている編集パターンを適用します。読取データが編集パターン対象外の場合、そのデータは破棄されます。

Blank page

## 補足 A 仕様

仕 様	
読取幅	67mm (左右マージンを含む)
読取深度	0 ~ 10 mm (PCS 0.9)
走査速度	100 スキャン/秒
CCD 解像度	2,048 ピクセル
光源	赤色 LED 波長 660 nm
最小 PCS	0.45
分解能	0.125mm
インターフェイス	キーボードインターフェイス      DOS/V デスクトップ & ノート 他 RS232C インターフェイス      300bps~38,400bps USB キーボードインターフェイス      WINDOWS98/ME/2000/XP/Vista/7 USB ハブチャネル COM インターフェイス      WINDOWS98/ME/2000/XP/Vista/7
読取バーコード	コード 39, コード 39 フルアスキー, イタリア・ファーマコード, フランス・ファーマコード, コダバール, インダストリアル 2/5, インターリーブド 2/5, マトリクス 2/5, コード 93, コード 128, JAN/EAN-8, JAN/EAN-13, UPC-E, UPC-A, EAN-8 アドオン 2, EAN-8 アドオン 5, EAN-13/UPC-A アドオン 2, EAN-13/UPC-A アドオン 5, UPC-E アドオン 2, UPC-E アドオン 5, UCC/EAN128(GS1-128), RSS(GS1 Databar)
インディケータ	ブザー, LED
電源供給	キーボードインターフェイス      PC から供給 RS232C インターフェイス      専用 AC アダプタ又は 9 番ピンから供給 USB キーボードインターフェイス      PC から供給 USB ハブチャネル COM インターフェイス      PC から供給
供給電圧	DC5V ±10%
消費電流	1000      75mA ~ 100mA typ.
ケース材質	ABS 樹脂
重量	約 130g (ケーブルは含まない) 1090      約 140g (ケーブルは含まない)
動作温度	0 °C ~ +50 °C
保管温度	-20 °C ~ +60 °C
湿度	20 ~ 90% RH 結露無きこと
準拠規格	FCC Class-A, CE, RoHS 指令

補足 B 16進バーコード/ステータスキー表

16進バーコード表	
 9 9 0 0 0	 1 9 9 0 1
 9 9 0 2 2	 3 9 9 0 3
 9 9 0 4 4	 5 9 9 0 5
 9 9 0 6 6	 7 9 9 0 7
 9 9 0 8 8	 9 9 9 0 9
 9 9 1 0 A	 B 9 9 1 1
 9 9 1 2 C	 D 9 9 1 3
 9 9 1 4 E	 F 9 9 1 5

ステータスキー表 <sup>1</sup>	
 9 9 3 0 Shift +	 CTRL+(L) 9 9 3 1
 9 9 3 2 ALT+(L)	 CTRL+(R) 9 9 3 3

確定バーコード
 9 9 9 4

<sup>1</sup> ステータスキーは USB キーボード 及びキーボード インターフェイスで使用できます。

## 補足 C キャラクタ表

キーボードインターフェイスコード表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0		F2	SP	0	@	P	`	p	(0)
1	INS	F3	!	1	A	Q	a	q	(1)
2	DLT	F4	“	2	B	R	b	r	(2)
3	HOME	F5	#	3	C	S	c	s	(3)
4	END	F6	\$	4	D	T	d	t	(4)
5	UP	F7	%	5	E	U	e	u	(5)
6	DOWN	F8	&	6	F	V	f	v	(6)
7	LEFT	F9	‘	7	G	W	g	w	(7)
8	BS	F10	(	8	H	X	h	x	(8)
9	HT	F11	)	9	I	Y	i	y	(9)
A	LF	F12	*	:	J	Z	j	z	
B	RIGHT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	PgUp	Exec	,	<	L	¥	l		
D	CR		-	=	M	]	m	}	
E	PgDn		.	>	N	^	n	~	
F	F1		/	?	O	_	o	DLY	CR*

ASCIIコード表									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p	
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q	
2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r	
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s	
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t	
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u	
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v	
7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w	
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x	
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y	
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z	
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{	
C	FF	FS	,	<	L	¥	l		
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}	
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~	
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE	

1. ファンクションキーは、一部のパソコンで正しく動作しない場合があります。
2. CR\*はデフォルトのENTERキーを意味します。
3. DLYは100ミリ秒のデレイタイムを意味します。
4. (0)...(9)はデフォルトの1~9を意味します。
5. 空白部分は未使用のキャラクタです。

## 補足 D データ送信フォーマット

下記にタッチリダのデータ送信フォーマットを示します。

基本フォーマット				
プリフィックス	コード ID	データ桁数	バーコードデータ	ポストフィックス

### プリフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

### コード ID

無し・任意のキャラクタ及びコード ID セット 1~5 の何れかを送信することができます。

### データ桁数

データ桁数送信を有りに設定した場合、常に 2 バイト長でバーコード桁数が送信されます。但し、PDF417 コードの場合は、4 桁送信となります。

Ex.1)                   バーコードが 8 桁の場合 08

Ex.2)                   バーコードが 40 桁の場合 40

### バーコードデータ

バーコードデータが送信されます。また、データ編集機能を使うことで、バーコードデータを任意に編集することが可能です。

### ポストフィックス

無し又は任意に 4 文字までを設定できます。

## 補足 E RS232C シリアルコマンド

RS232C インターフェイスタイプのバードリーダーはシリアルコマンドに対応しています。専用シリアルコマンドを RS232C インターフェイスを通して、送信することでバードリーダーの設定を変更したり、動作を制御することが可能になります。

下記にシリアルコマンドフォーマットを示します。

### シリアルコマンドフォーマット

#@nnnn<CR> \* <CR>はキャリッジリターン 0DH  
nnnn には、取扱説明書の設定バードコード下にある 4 桁のコードが入ります。設定開始コマンドは該当しません。

例)

<u>#@0067&lt;CR&gt;</u>	コンティニアモード
<u>#@9993&lt;CR&gt;</u>	全デフォルト
<u>#@9999&lt;CR&gt;</u>	設定保存(設定終了)

シリアルコマンドに設定変更を行った場合でも設定保存コマンドを発行せずにバードリーダーの電源をオにするると、設定内容は消えてしまいます。不揮発性メモリに保存したい場合は、電源をオにする前に設定保存コマンドを発行してください。

### 特別なシリアルコマンド

#@----<CR> 動作休止コマンド  
このコマンドを受信するとバードリーダーは、動作を一時休止します。

#@....<CR> 動作再開コマンド  
このコマンドを受信するとバードリーダーは、先の動作休止コマンドで休止状態にある動作を再開します。

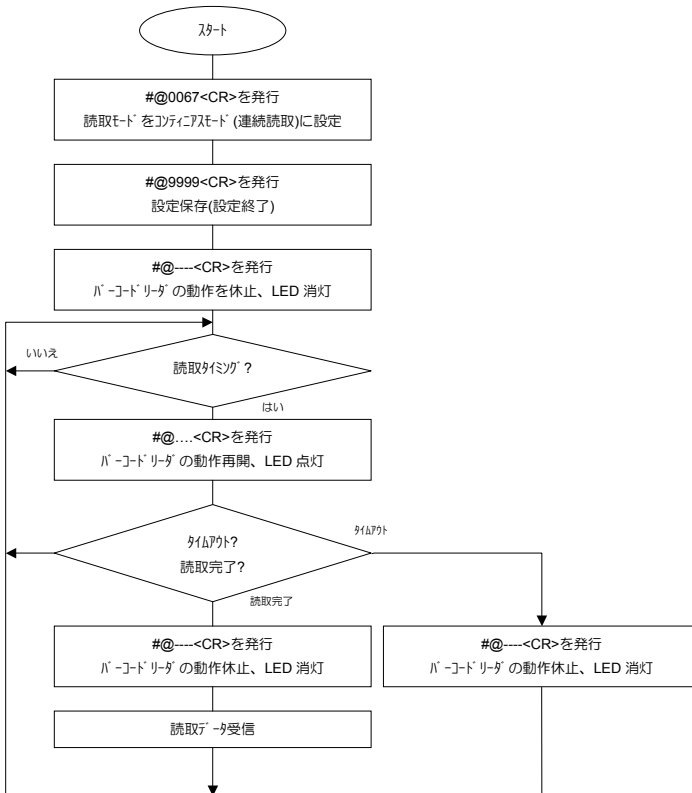
#@////<CR> 読取りザザコマンド  
このコマンドを受信するとバードリーダーは、読取りザザを鳴らします。この時読取り LED も点灯させます。

次頁にバードリーダーの読取りタイミングを制御するためのフローチャート例を記載します。

## 参考

シリアルコマンドを送信する場合、各コマンド間に最低 500msec の間隔を空けて送信してください。但し、設定終了・キャンセルなどバードリーダーのリセット動作が伴うコマンドの場合は、1 秒以上間隔を空けるようにしてください。

## シリアルコマンドによる読取タイミング制御フローチャート例





## 補足 F トラブルシューティング

### 電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

### バーコードを読み取らない

- 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 汚れたバーコード、劣化した状態で印刷したバーコード、複写したバーコードなど、品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のバーコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェック項目が付加されていないバーコードに対して、チェック項目有りとして設定していませんか？
- 読取窓は汚れていませんか？

### バーコードを読み取りづらい

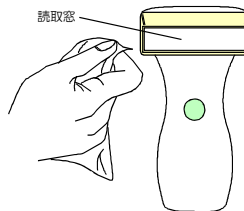
- 対象のバーコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いバーコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

### PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- バーコードリーダーの設定は間違っていないですか？  
本書「4.2 バーコードリーダーの簡単セットアップ」を参考にバーコードリーダーの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

### その他

- バーコードリーダーの読取窓が汚れていると、バーコードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

## 補足 G サンプルバーコード

コード 39



コード 39 (CD 付)



JANコード 100%



JANコード 80%



インターコード 2 オフ 5



インターコード 2 オフ 5 (CD 付)



コード 128



NW7



PDF417



